

令和8年度 まちの保健室委員会 活動計画

■活動目標	1. ボランティアが、看護職ならではの相談対応力を発揮できるよう支援する。 2. 各支部の地域特性ニーズを踏まえた「まちの保健室」活動を支援する。 3. 災害に備えた地域づくりに貢献するため、地域住民に防災・減災の普及推進を図る。
■開催予定	6回
■活動事業	1. ボランティアに対し、看護職ならではの相談対応力が向上するための支援を行う。 1) 各支部の「まちの保健室」活動を充実させるため、相談機能の向上の研修会を企画し開催する。 2) 「まちの保健室」拠点・出前隊の活動において、地域住民のニーズに応じた相談機能が発揮されていること、またボランティア自身が相談対応を通じて学びや達成感を得られるよう支援する。 2. 各支部の地域特性ニーズを踏まえた、「まちの保健室」活動を支援する。 1) 各支部が地域住民のニーズや地域特性を把握するための検討・会議を開催し、地域の状況や住民の声を共有し、支部ごとの課題や強みを明確にする。 2) 各支部の活動計画および活動内容について、委員会で報告・共有し、支部間の連携・支援につなげる。 3) 各支部の年間活動計画を明確にし、地域住民が「まちの保健室」を活用できるよう周知を行い、参集しやすい環境を整える。 4) 地域住民の多様なニーズに対応できるよう、地域特性に沿ったパンフレット等の指導資材を活用する。 5) 地域の医療機関や福祉施設等と連携し、必要な情報やサービスを迅速に提供できる体制を整える。 3. 地域住民による災害に備えた地域づくりに貢献するための防災・減災の普及推進を図る。 1) これまで培ってきた「まちの保健室」活動を基盤に、災害支援ナース・まちの減災ナースと連携し、地域住民の防災意識の向上や減災につながる取組を継続的に行う体制を構築する。 2) 「まちの保健室」ボランティアに登録した災害支援ナースが、これまでの活動経験を生かし、地域の防災対策等においても有効に活動できるよう調整を行う。 3) 災害に備えた地域づくりのための「まちの保健室」活動が、これまでの取組事例を踏まえ、支部を超えて広がるよう支援する。 4) これまでの「まちの保健室」活動における防災・減災に関する取組内容や参加状況を振り返り、地域住民やボランティアの関心や意識の傾向を把握し、今後の活動に生かす。